

2. 国際戦略の位置づけ

東北大学は、2018年10月に今後の指針として「東北大学ビジョン2030 最先端の創造、大変革への挑戦」（以下「ビジョン」）を公表した。「ビジョン」では、東北大学のミッションとして、指導的人材を育成し、世界的に卓越した研究成果を創出して、平和で公正な人類社会の発展に貢献することを定め、「学生の挑戦心に応え、創造力を伸ばす教育を展開することにより、大変革時代の社会を世界的視野で力強く先導するリーダーを育成」（Vision 1: 教育）、「世界三十傑大学にふさわしい総合研究大学として、卓越した学術研究を通して知を創造するとともに、新たな学問領域の開拓とイノベーション創出を力強く推進」（Vision 2: 研究）、「社会とともにある大学として、多様なセクターとのパートナーシップのもと、新たな社会価値を創造し、未来を拓く変革を先導」（Vision 3: 社会との共創）、「卓越した教育研究を基盤として社会とともに成長する好循環の確立のため、大学経営を革新」（Vision 4: 経営革新）と、4つのビジョン項目のいずれもが国際的、グローバルな視野に立ったものとなっている。これは、東北大学が全学一体となり国際化を推進すること、また、すべての領域で構成員の一人ひとりが国際的な視野に立って行動することを宣言したことを意味している。

本「国際戦略」は、この「ビジョン」に基づいて策定されたものであり、その基本となる骨子は、「ビジョン」そのもののなかに「重点戦略⑩：戦略的な国際協働の深化」として組み込まれている。同「重点戦略」は、具体的には、下記の2項目から構成されている。

56. 世界から尊敬される三十傑大学としての国際協働の戦略的推進

世界から尊敬される三十傑大学をめざして東北大学の国際ブランド力を強化し、世界の大学、学術団体、産業界および市民等との戦略的パートナーシップに基づく国際協働を推進します。学内の多様な構成員による幅広い国際連携活動を基盤としつつ、「選択と集中」によって実効性を高めた国際戦略を策定・実行し、国際協働を深化させます。

57. セクションの壁を越えて全学一体となった包括的国際化の推進

これまで個別に進められてきた、教育、研究、産学共創、社会連携などに関する国際的活動を全学的に連携させ、包括的国際化（Comprehensive Internationalization）を推進します。出島的な国際化からの脱却を目指す取組みを加速するために各構成員の資質向上と意識改革を図るとともに、誰もが国際的活動に参画しやすい体制構築と環境整備を行うことによって、世界から尊敬される三十傑大学を目指す本学にふさわしい組織文化を醸成します。